

全国非開削普及協議会 Vol.12 PRESS



月刊推進技術 9月号
会員動向 (P35) に
掲載されました。

会員動向

雨水集水ます浸透化工法(EGSM工法・ER工法)で来年の下水道展出展をめざす

全國非開削普及協議会

全国非開削普及協議会（賛助会員、
会長：岡本州雄様）小池建材代表取締
役社長は8月27日第7回定期総会
および懇親会をメルパルク東京（東
京・芝公園）で開催した。

総会で岡本会長は「我々建設業界は厳しい経済状況の中、会員各社の協力により同協議会が7年目を迎えたことは喜ばしい」と会員各社に感謝の意を表し「今年度は2009年版非開削工事普及マニュアルを活用し、住民環境改善工法普及活動を前年以上に推し進めていく方針。同協議会の2本の柱である非開削工事普及と環境保全技術普及のほかに、浸水被害対策や合流式下水道改善対策としての雨水集水ます浸透化工法EGSM工法・ER工法を確立し同協議会内にEGSM工法研究会を設立した。同工法は施工が簡単でコストが最大の特長。来年度の下水道展への出展を視野に、本格的に普及活動を進めていきたい」と語った。

つづいて、同協議会内に発足したEGSM工法研究会の初代会長に就任した富樫邦男(㈱エルデック代表取締役)があいさつに立ち「平成18年か

ら同21年度までに、合流式下水道緊急改善対策事業として酒田市においてER工法が採用され3,300箇所以上の施工実績がある。西東京市においても今年度、雨水浸水対策事業として11箇所施工し、既に100箇所以上の発注もある。同工法を説明した自治体では施工が簡単なことと低コストが話題になり引き合いが増えている。来年の下水道展では必ず話題の中心になるだろう」と力強く語った。

保全技術普及の普及拡大のほかに、雨水集水ます浸透化工法 EGSM 工法・ER 工法の全国普及を柱にした、平成 22 年度事業計画と予算案が審議され可決承認された。

総会後の講演会では「推進技術の明日」と題し、当協会の石川専務理事が講演を行い「推進工法は、カベにぶち当たるたびにそのカベを乗り越えてきた60年の発展の歴史がある。発想を転換し、あらたなターゲットを見極めた技術開発をして欲しい」会員各社にエールを送った。



月刊下水道10月号
NEWSのページ(P90)に
掲載されました。

全国非開削普及協議会

第7回定期総会を開催 岡本会長の続投を決定



岡本会長

会長は、「昨年度議会で示した「環境元年スタート」の認識を今年度も継続させるとしたうえで、2010年度については、昨年度に作成した『09版非開削工事普及マニュアル』や協議会が保有する土壤・水質汚染処理技術をより広く展開させて、協議会が自らのテーマと掲げる「住民環境改善」を推し進めていく方針であることを明らかにしました。

総会では、土壤汚染処理時に発生する有害物含有排水対策技術のPRを全国10県12市町村に対して実施した「環境保全技術普及部会」の取り組みなどを2009年度活動報告が報告され承認されたほか、試験施工を行ってきた「雨水集水ます浸透化工法」(EGSM工法、ER工法)の受注活動を本格化させることなどを盛り込んだ2010年度事業計画が可決・承認された。

また総会では任期満了に伴う役員の改選が行われ、岡本会長が満場一致で再選された。

ホームページリニューアル

2010/11

全国非開削普及協議会では、会員の皆様との情報により円滑にする為、ホームページ上にトピックスコーナーを作成し、タイムリーな情報の共有化を推進してまいります。